

大蔵流

茂山狂言

川西公演

お待たせしました！

2年ぶりとなる

茂山狂言、

今年は初夏の開催です。

茂山七五三



丸石やすし



茂山あきら



松本薫



茂山千五郎



島田洋海



茂山茂



増田浩紀



茂山宗彦



井口竜也



茂山逸平



鈴木実



茂山千之丞



さくらんぼ

作…小佐田定雄
演出…茂山あきら

男…茂山あきら
女房…茂山逸平
花見の衆…

丸石やすし
島田洋海
井口竜也
鈴木実
茂山千五郎

お話 茂山あきら

二人袴 ふたりばかま

唄…茂山千之丞
舅…茂山七五三
太郎冠者…増田浩紀
兄…茂山千五郎

蝸牛 かぎゅう

山伏…茂山宗彦
主…松本薫
太郎冠者…茂山茂



2022

5/22(日)

2:00PM開演
(1:30PM開場)

川西市 みつなかホール

阪急・能勢電鉄川西能勢口駅東口下車・徒歩5分、JR川西池田駅下車・東へ12分

入場料〈全席指定席〉：一般3,500円
割引〈小・中・高生、障がいのある人〉2,300円

※就学前のお子様の同伴・入場はお断りいたします。

■主催：(公財)川西市文化・スポーツ振興財団

■ご予約・お問い合わせ：みつなかホール 072-740-1117 〒666-0015川西市小花2-7-2

URL <https://www.kawanishi-bunka-sports.com> <https://www.facebook.com/mitsunaka.bunka>

前売券発売所：みつなかホール072-740-1117、ローソンチケット Lコード：51909

●前売券完売の場合は、当日券はありませんのでご了承ください。●ホールに駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。



大蔵流 茂山狂言 川西公演



【三人袴】

ふたりばかま

若い聾(むこ)が聾入り(夫が結婚後に妻の実家に挨拶に行く中世の儀式)に出かけますが、心細いので兄に付き添いを頼みます。舅(しゅう)との家の前で兄は聾に礼装の袴をはかせてやり、自分は外で待ちますが、舅の家の太郎冠者に見つかり家へと招かれます。しかし、礼装の袴はひとつしかありません。そこで袴を兄弟で交互にはいてひとりずつ挨拶すること何と取り繕いますが、舅に「二人で一緒に」と言われてしまいます。さて、兄弟はどう切り抜けるのでしょうか？



【さくらんぼ】

作…小佐田定雄

演出…茂山あきら

さくらんぼの種をあやまつて食べた男の頭のとっぺんから大きな桜の木が生えてきます。春、頭の上の桜が満開という話を聞きつけた近所の友人が、男の周りにぎやかに花見を始めます。あまりの騒がしさに腹を立てた男は、頭の上の桜の木を引き抜いてしまい…。

落語「あたま山」をもとに、落語作家・小佐田定雄が作、茂山あきらが演出した新作狂言です。



【蝸牛】

かぎゅう

太郎冠者は主人の言いつけで長寿の薬になるという蝸牛(かたつむり)を探しに山へ出かけます。そこで修行の帰りに竹やぶで休んでいた山伏に出くわします。蝸牛を見たことがない太郎冠者は、主人から聞いた「頭が黒く、腰に貝をつけて時々角を出し、やぶにいる」という特徴から山伏を蝸牛だと勘違いし、屋敷へ連れて帰ろうとします。山伏は蝸牛のふりをしてさんざん太郎冠者をからかい、「でんでんむしむし」と二人で舞っているのを業を煮やした主人が登場、浮かれる太郎冠者を「それは山伏だ」と叱りつけます…。

あらすじ・写真提供：童司カンパニー

みづなか文化セミナー **狂言への誘い**
逸平 & 千之丞の狂言をとことん楽しむ方法! Part. XI

2022.4/27(水)2:00pm お話し: 茂山 逸平、茂山千之丞
会場: みづなかホール文化サロン 入場料: ¥1,200-